

6団体25人に住民活動賞

市民憲章推進協議会では、4月26日、地域活動に功労のあった6団体25人のかたに、今年度の住民活動賞を贈りました。

長年、町内会活動や花いっぱい運動、青少年育成などで活躍されたみなさんです。



4月26日の表彰式で

【表彰されたかたがた】

団体 総社神社をきれいにする会(川尻) 西大畑老人クラブ(八橋) さつき台町内会(寺内小学区) レインボーめいとく(明德) 十三岱町内会(太平) 御野場町内連合会(四ツ小屋)

個人 佐藤八重子(保戸野) 田村敬蔵(旭北) 相場竹治(中通) 三平文造(旭南) 玉尾義一郎(茨島) 太田ツヤ(泉学区) 貝田健司(土崎中央) 古城幸男(寺内) 伊藤正雄(將軍野) 高橋キン子(外旭川) 富樫仁英(新屋) 佐藤昭一(新屋勝平) 斎藤賢三(浜田) 高野琢雄(旭川) 佐藤敏夫(広面) 鈴木礼三(桜) 川邊多一郎(東) 吉田孝導(築山) 高橋金蔵(牛島) 田口フサ子(仁井田) 高橋安巳(大住) 佐藤義雄(飯島) 松田光平(下新城) 小林俊夫(上新城) 藤嶋誠一(金足) = ()内は地区名・敬称略 =

緑の募金にご協力ください

「緑の募金」は、5月31日(金)までです。

募金の一部は、緑豊かで美しいまちづくりに活用されます。「緑の募金」にご協力ください。

(秋田市緑化推進委員会)



3月20日に市役所正庁で行われた、緑化功労者の表彰式

有毒植物や魚の寄生虫にご注意ください

自然界の植物の中には、食用や薬用になるものがある一方、私たちにとって有毒な物質を持つものもあります。今年はすでに東北地方で、毒性の強いトリカブトを、シドケなどと誤って食べてしまい、死に至った食中毒事件が発生しました。

食用植物が、しっかり確認！

- 食用植物かどうかを確認できないものは、絶対食べないようにしましょう
- 正しい知識、鑑別法は専門家から指導を受けましょう
- 山菜採りでは、有毒植物が混入しないように十分注意しましょう

もし、食中毒にかかったら、原因と思われる有毒植物の残りを持って、すぐに医師の診療を受けましょう



トリカブト



シドケ

淡水魚には寄生虫が多い

川や沼の魚(淡水魚)には寄生虫が多く、食べた人の体に害を及ぼす場合があります。日本では、魚介類を生で食べる習慣があるので、特にご注意ください。

- ブラックバス、鮎、ウグイなどの淡水魚は寄生虫が多いので生食は避けましょう。タラ、鯖なども寄生虫が多いので内臓の生食は避けましょう
- 川魚を調理した調理器具は、使った後、必ずよく洗浄して、熱湯で消毒しましょう
- 魚の内臓の寄生虫は、内臓に近い筋肉に移行することがあるので、鮮魚はなるべく早く内臓を取り除き、目で見える寄生虫は取り除いて加熱調理しましょう。



オオクチバス

問い合わせ 衛生検査課 ☎(883)1181

災害への備えは万全ですか？ 5月26日は県民防災の日

昭和58年5月26日の日本海中部地震から早19年。自然災害はいつ起きるかわかりません。
防災対策課 ☎(866)2021



○ 3日分の食料や飲料水を

非常時のために、食料や飲料水は3日分を備えてください。飲料水は、1人1日3リットルが目安。懐中電灯やラジオなどの非常持ち出し品もまとめておきましょう。

○ 安全対策は万全ですか？

地震や台風による落下物や倒壊に対する安全対策はお済みですか。家屋やブロック塀の点検や補強、室内では家具類の転倒防止など、今一度確認してみましょう。

○ 家族の避難方法は

家族の避難場所や避難経路を実際に歩いて確認しましょう。避難場所は、秋田市ホームページ、土崎・新屋支所、図書館、公民館、地域センター、コミセンなどに配備している「地域防災計画」「防災カルテ」で確認できます。

<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds>

○ 安否の確認などの連絡は

災害が発生すると、電話が殺到し、かかりにくくなります。この場合、

安否の確認などの連絡には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が便利です。一般家庭や公衆電話、携帯電話などから利用でき、事前の契約などは不要です。「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。

○ 地域の協力体制を築きましょう

災害時には、隣近所や町内の助け合いが重要です。お年寄りや災害弱者をいち早く救出するためにも、地域、町内の協力体制や自主防災組織を整えておきましょう。